

第四期 第十三回 np.広告学校講義録

米村クラス【ルンバ】①

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら contact@noproblem.co.jp までご連絡ください。)

◆日時

2011年09月12日

◆主席者

鶏肉、ベトナム、まばたき、ミミミ、魔法少女、餅、まる、キャサリン

たこやき、りんご園、猫屋敷、生郎、えいじ 生徒13人(女性8名、男性5名)

米村：個々で考える前に皆で商品の知識や考察を出し合う。

僕らの普段の仕事として、初めての新しい仕事を受けるとき、普通は営業の人がクライアントから聞いてきた話を、まずみんなで聞いて。それから、商品の情報だったり、それについての色々な意見をディスカッションしてチームのみんなで出来るだけ色々な角度からの意見を出し合うんだよね。最終的にはそれらの情報を自分の中で消化吸収したうえで、自分なりの考察を考えるしかないんだけど。

たとえば、スポーツブラのことなんて、男子と女子だと、予備知識が全然違うだろうし。今日のこういう掃除機だって、もしかしてこの中で買おうとした人がいたら、そのことをすごくわかっているかもしれないし、場合によっては家に持っているかもしれない。結婚したばかりの友達にプレゼントするために、実際に買って来て、使ってみてこういうことを言ってたとか。

だから、今日はまずみんなで商品に関する各自の知識を最大限シェアしてそこから、次にストラテジーをやっていこうかな、と。

今日はまず、ベトナムさんに商品のことを説明してもらって、もしこの商品についてもっと知っている人がいたら、ドンドン意見を言ってもらって。そのあと、ベトナムさんの仮説として、たとえばこんな考え方はどうだということを示しつつ、こういうターゲットの、こういうインサイトに向かって考えるといいんじゃないか、という流れで考えていこう。

今日は、自分の意見を主張するよりも、いろんな意見をできるだけ出して、それに対してのみんなの考えを出して。それを各々が持って帰って、その何処を今回は攻めるのがいいかを考えるための、畑を耕す日だという風に思って。語り尽くして、もうあとは考えるだけという気持ちで、個々が帰れるように。あらかじめ、みんな考えてきているはずなので濃密な意見交換をしたい。

<商品説明>

米村：それじゃ、ベトナムから商品の説明を。

ベトナム：商品名はルンパで、メーカーはアイロボットっていう、日本の会社ではなくてアメリカの会社です。価格は48000円が一番ランクの低いもので、一番ランクの高いものは79800円。この値段の違いは、基本的な機能がまずあって、そこに掃除する範囲を設定するとか、ここからの部屋にはいかないでと設定するとか。オプションみたいなものがあるって、高くなればなるほど、色々できる機能が備わるという。

米村：賢くなるの？

ベトナム：どんどん賢くなりますね。それで、商品の一番の特性としては、真ん中のボタン一つを押すだけで、自動的にあちこち動き回って、ゴミを吸い取ってくれる。壁に当たって、方向転換をする。壁の隙間とかも掻き出して、ゴミを吸い取ってくれる。頭のいい、掃除機というよりもロボットみたいな。アイロボットという会社なので、掃除機の会社というよりも、ロボットとかをつくっている会社だと思います。

それで、長所としては、ホームページの購入した人の話を見ると、とにかく軽くて薄くて小さいので、腰が弱い人でも負担がかからないし、場所も取らない。あとは、自分で動いて掃除をする手間がなくて、ボタン一つできれいにしてくれる。操作も、ボタン一つで簡単。あと、範囲はあるみたいだけど、階段とか段差を感知して、回避したりする。進行方向もルート変更したり。

<意見交換>

米村：これ、持っている人とか、知っている人っていない？

鶏肉：うちは買おうか検討中で、何回かオークションに参加したりして外れて、どうしようかな、と。

米村：一人使ってる人を知っていてすごくいいと言っていた。

ベトナム：持っている人は、すごいって言いますよね。

米村：初代のやつがボロボロになったから、そろそろ新しいやつにしようと思ってるとか。色んな人に勧めているって言ってた。

たこやき：そのボロボロというのは、具体的にどういう状態？

米村：初代が出てから10年近く経っているから古くなっているっていう。

たこやき：かなり長いこと使ってるんですね。

米村：どのくらい売れてるんだろ？一時、話題になったでしょ？でも、最近はそのときほど聞かない。使っている人がすごいいいとっていた割には、周りの人がどんどん買っていったという感じがしない。むしろ、最近はダイソンの方が売れている感じがするよね。

鶏肉：2008、2009年で前年比1.5倍、2010年くらいまでは2倍って、書いてあるんですけど。

米村：じゃあ、ずっと倍々ゲーム的に10年近くは売れてきた、ということなのかな？CMとかやってないよね？

鶏肉：たまにやってみましたよ。人が出てこない、ロボットだけしか出てこない。

ベトナム：よく見るのが、夫婦で喧嘩をしていて、旦那さんが奥さんに向かって叱っている前を、ルンバがスーッと動いて勝手に掃除しているみたいな。

鶏肉：YKKの窓系のCMと被るような...あの怒られている。

米村：いま聞いた感じだと、あまり押しつけがましくないCMだね。

ベトナム：そうですね。すごい面白いCMだと思って、印象にもあるんですけど。

米村：全く印象がない...見てないのかな。

鶏肉：私は見ていたけど、ルンバ！という感じではないので。あ、そういえばルンバか、みたいな。

米村：確か、その持っていた人の話だと、終わったら充電の所に、自分の居場所に自分で帰るみたいで、AIBOに近い感じでカワイイ、と。

鶏肉：何処かのサイト曰く、最初はロボット系で売っていたけど、逆にロボット色を消して主婦向けに使える家電にしたら、売れるようになったらしくて。結果としてロボットとしてかわいいけど、売り方としては家電だよ、と。買ってみたら、ロボットのなかわいさがある、みたいなの。

ベトナム：なんか、普通の掃除機からルンバに乗り換えるというよりも、元々普通の掃除機を持っていて、その2台目として買うとか売るのが、売れるらしくって。

米村：階段とか、段差のある洗面所とか、これだと難しくない？

鶏肉：段差はokだけど、カーペットのめくれた感じはちょっと苦手らしいです。

たこやき：確か2cm以上だったら、上げれるみたいです。

米村：それはどういう構造なんだろう？

鶏肉：そうになっているみたいです。それに、覚えるんですよ。部屋の形は、ぶつかったらここは端っこだから、空間的にこういう形の部屋なんだとか。

米村：ああ、学習していくんだ、自分で。

鶏肉：人工知能搭載みたいな。

ミミミ：3周するんですよね？

鶏肉：4回同じところを行き来するらしいです。

米村：階段は無理だよ。階段って、ほこりがたまっていくんだよね。

鶏肉：階段専用とかできたら、それはそれでいいね、と。

米村：だから、これだけで掃除がokには絶対ならないよね。箒と塵取りくらいは最低でも必要だよ。

ベトナム：さっきかわいいという話があったんですけど、実際に顔を書いたりとか、愛着を持って使うようになるらしくて。友達の知り合いがルンバにはまっていて、すごく勧められたって言って

いて。

米村：やっぱり、知り合いに勧められてなんだ。買った人で失敗したっていう人が、あまりいないみたいだね。

鶏肉：うちは二家庭あって。一家庭は、通販で買った 10000 円の類似品はそこそこみたくて、それなりに汚れは取れるけど、ゴミを掻き出すのがすごく大変で開けにくいらしくて。それを聞いたもう一家庭はルンバを検討しているんですけど、ペットがいたら大丈夫なのか不安で。猫とけんかにならないか、とか。

米村：猫とかペットがいたら、どうなるんだろうね。

鶏肉：70000 円出すからには失敗できないなって。だから、10000 円の類似品で先に試してみるかどうか考えています。

米村：[広告を考える時、商品には興味を持ってある意味好きにならないといけない。](#)

商品に関しての質問はある？今は商品について知る時間だから。新しい商品に取り組むときって、そのことに興味を持たないとダメだよ。どう考えても自分はこれを勧められない場合はやらない方がいいよ、仕事でも。やるとなると、ある意味好きにならないと。

たこやき：色々見ていたら、万人受けするものではないみたいで、家庭のライフスタイルとか部屋の感じをかなり選ぶものらしくて。それが合致するところは、満足度がすごく高いらしい。逆に、ペットがいる家庭とか小さい子がいる家庭だと、床に色々と物が置いてあると思うし、床にちゃぶ台を置いてご飯を食べる家庭は段差が多かったりするし。

米村：日本家屋という意味？

たこやき：そうですね。床に色んなものが置いてある家庭には、まず向かないっていうのはあるらしいです。そこまで小回りが利くものではないので、一個一個の障害物が邪魔になるでしょうし、毎回その場所が変わっていたりするから、向かないんじゃないかな、と。あと、段差もきついです。畳はそんなに得意じゃなくて、理想はフローリングみたいなところがあるみたいです。パイは小さくないけど、かなりターゲットを選ぶんじゃないかと。

米村：これって日本のメーカーだと思ってたよ。

鶏肉：それは、日本で請け負ってる会社が頑張っていて、日本の意見を取り入れて日本仕様をつくっているみたいです。

たこやき：でも、元々アメリカでつくられたものだから、アメリカンライフスタイルにバッチリはまる感じはありますね。

ベトナム：電器屋で聞いたときに、これはアメリカの会社のものだけど、やっぱり日本製にこだわる人が多いらしくて。特に、高齢者の人が。

たこやき：そう考えると、首都圏で生活しているような人のライフスタイルにはまるんじゃないか、と。忙しくて、床がフラットで、できればフローリングの部屋で。

米村：別に絨毯が苦手ってことではないよね？

鶏肉：そうなんですけど、あまり毛が長いのは得意じゃないみたいです。

米村：エアーで吸い取るだけなの？

鶏肉：ブラシがついていて、角を掻き出す感じで。

米村：丸いから角まで掃除できないと思ったら、ゴミを出すみたいなの。

キャサリン：なんか、そのブラシは減ってきちゃうみたいで、本体が古くてもブラシは最新のものに交換してくれるらしくて。サービス面は充実しているからいいらしいです。

米村：でも、そのサービスはどこで提供してくれるの？家電店とか行くとあるの？

鶏肉：それもありますし、請け負ってる会社が日本製品に限ってメンテナンスをしてくれるみたいです。

米村：それは送ってということ？窓口じゃなくて？

キャサリン：確か、そうです。送るから結構時間がかかるみたいです。

あと、赤ちゃんがいる家庭の口コミで、布団とかの吸引ができないから、ダニを退治するには普通の掃除機の方が使いやすくて、結局2個買わないといけないみたいです。布団をぺたんこにして掃除するとき、普通の掃除機の吸引力が必要だから。

鶏肉：でも、ルンバを持っていて、普通の掃除機を持っていない人っているの？いないとはいわないけど、少数派な気がして。

たこやき：この掃除機だとピンポイントで掃除できないから、これだけでは成り立たないですよ。普通の掃除機とか、サッサ (KINCHOの拭き掃除ができる化学ぞうきん) みたいなものが必要で。でも、これがあることで毎日動かすようになって、常にきれいな状態を保てるというか。

米村：np.にあるといいかもなあ。

鶏肉：この会社の方針としては、基本的に主婦とかそういう家庭向けなんですけど、清掃員が入らない、うちの入ってるテナントとかでも使っている人がいて、毎晩ルンバがセキュリティに引っかかって。でも、会社としては良いみたいです。調べてみたら、オフィスで使った場合と家で使った場合を比較するものがある。オフィス完璧、みたいな。少しものを片付けられない間に勝手に掃除してくれてきれいだし。自宅の場合は条件があって、静かな方がいい人には無理だし、家の角の隅にも影響されるし。オフィスだったら完璧だけど家には選びますねと、その人は講評していて。オフィスには向くんじゃないかと思いました。

米村：階段から転落はしないの？

鶏肉：転落はしないですね。掃除をしてくれないだけで。

米村：壁に当たって跳ね返るだけじゃなくて、段差も感知するんだね。

鶏肉：ルンバがどのくらいオフィスに向いているかわからないんですけど、ホームページを見た限り、完全に主婦、家庭向け、おじいちゃんおばあちゃん、一人の時間ができますよ、という売り方なので。オフィスでは、そんなにバンバン使っていないんじゃないか、と。

りんご園：何時間くらい1回の充電で動くんですか？

キャサリン：1回に動くのが40~50分らしいですよ。それをキッチリやって、自分で充電しに戻ってくるみたいで。

りんご園：あんまりスピードは速くないんですよ？広いところだと、40~50分では掃除しきれないっていう。

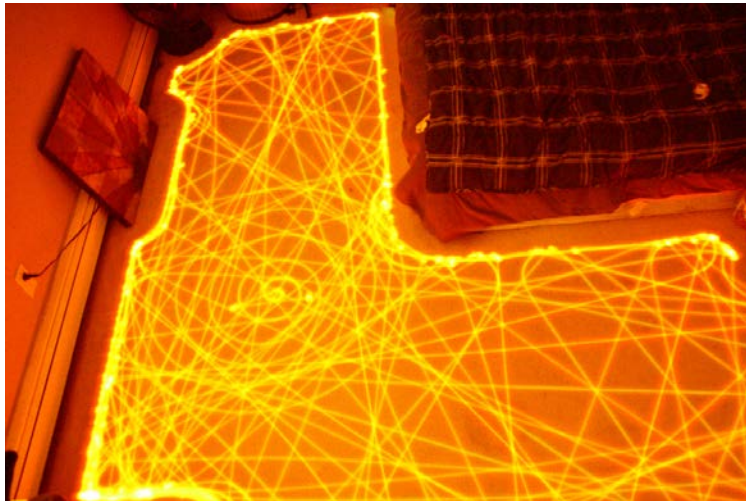
米村：体育館みたいなところだと、ねえ。笑

りんご園：ちょっと大きいオフィスだと、やりきれなかつたりするんですかね。

鶏肉：オフィスで、清掃員が入るところであれば要らないかなー、と。

米村：体育館みたいな長方形で障害物のないところだと、どういうルートで動くんだろうね。

ミミミ：なんか、キレイなのを見つけて。ルンバに光を付けて長時間露光して撮ると、こういう動きをするとわかる写真があつて。



引用元：<http://signaltheorist.com/?p=91>

キャサリン：おー、すごい複雑に動く。

米村：なんか、ここだけムラがあるね。

ベトナム：ここが汚れているとか、そういうことですかね。

キャサリン：だいぶ気まぐれですよ。笑

米村：何畳までとか、条件はあるんだろうか？

たこやき：6畳くらいで、30分はかかるらしいです。動作が遅いというよりは、4回廻ってキレイにするから、そのくらいの時間がかかるみたいな。障害物の多さで、時間も変わるとは思いますけど。

米村：普通の掃除機より、はるかに時間がかかるよね。

たこやき：人がいたり障害物があったら、それだけ掃除の質が下がるとか、時間がかかるとか。人がいないときに動くのが理想で。主婦とか、子どもがいるとか、ペットがいたりとか、誰かしら家

に人がいるところだと、若干うるさかったりするのかな。家を留守にするときに、動かしてから出るのが理想でしょうね。

米村：うるさいんだ？

鶏肉：掃除機よりは静かなんですけど、何も音がしないわけではないので。

りんご園：サイトの動画だと音は静かなんですけど、音がどんなもんなのかなあ、と。

ベトナム：気になる人は気になるらしいです。

米村：ダイソンは音は大きいらしいからね。

鶏肉：なんか、質問トップ 10 を見ても、広さを心配する質問自体があまりなくて。

猫屋敷：3部屋以上あるときついと書いてありましたよね。

ベトナム：これにハマる人は、最初は普通の掃除機とこれを使うんだけど、段々これ一本になっていて、部屋が多いと複数買ったりもするみたいで。

キャサリン：でも、部屋は覚えるから、1階も2階も1台で掃除できるらしいです。自分で充電器も持っていかないといけないんですけど。

猫屋敷：ペットや赤ちゃんが触ると、方向が誤作動を起こしたりするんですかね？

米村：でもさ、覚えている形通りに動くわけじゃないでしょ。全体がこんな形だと分かっている、あとはセンサーで感知したりできるから。
これを買ってよかったと思って人に勧める人って、何が良かったと思っているんだろ？

ベトナム：聞いた話だと、とにかくカワイイらしく。愛着を持って顔をかいたりしちゃうみたいで。

鶏肉：人間よりも、きれいにしてくれるとか。

まる：思った以上に、ゴミがとれたみたいだな。フィルターを交換したときに「え、こんなに?!」って。

米村：ソファの下とかベッドの下とか、見えないところをきれいにしてくれる感じはあるよね。見えないところって、汚いじゃない。

鶏肉：やっぱり、値段がネックじゃないかなあ、と。

米村：AIBOっていくらくらいだったけ？今でもAIBOかわいがっている人って、あんまりいないよね、きっと。

鶏肉：最初は一気に売り切れになったけど、それで終わりみたいな。ルンバも最初はその路線でいったけど、途中から家電に変更して。

ベトナム：AIBOって何かしてくれるんですって？

米村：AIBOは、何もしてくれない。笑

ベトナム：ただのペットみたいな感じ。

米村：まあ、こいつは働くからな。健気な感じ。

ベトナム：そう、健気な感じがかわいって言っていて。

キャサリン：自分の時間ができるから。出かけている間に部屋がきれいになるから良い、と。主婦の人とかは、そこですよ。

鶏肉：現時点では、主婦とか共働きの人向けですよ。主婦には高いんじゃないかと思ったけど、最近の主婦は趣味とかを持っているから、自分の時間が欲しいみたいです。

りんご園：主婦って、毎日掃除するの？

鶏肉：人によると思うけど、毎日しますよ。

たこやき：なんか、東芝の類似品で70万くらいのものでありましたけど。笑 他の類似品は機能の割に安い、と。

ベトナム：無名のメーカーもありますよね。

猫屋敷：ドンキとかにも安いのが売ってますよね。

ミミミ：価格ドットコムを掃除機で調べたら、普通の掃除機が1、2、3位を占めていて、4、5位にルンバが入っていて。安いレベルのルンバだったけど、意外と知名度があるんだと思いました。

キャサリン：ダイソンは、ルンバと同じくらいの順位でしたね。ダイソンは、なんか手入れが面倒くさいらしくて。フィルターをまめにきれいにしなきゃいけないみたいで。

鶏肉：値段とすごいというのはわかるんだけど、本当に大丈夫なのかというのがあって。お試し貸し出しがあったらいいなって。失敗したら怖いけど、使ったら良かったら絶対買うので。

ベトナム：そこを越えて既存顧客になれば、もう絶対離さない感じですよ。

鶏肉：その70000円っていうのが大きくて。48000円くらいならあるんだけど、一番下のレベルはちょっと、というのもある。

猫屋敷：一番下のは、自分で戻ってくれないんですよ。

キャサリン：でも、高い方がいいって、それは作戦ですよ。

米村：高ければいいとも限らないらしいけど。ユンケルが一番お買い得なのは、真ん中くらいの値段だとある人から聞いたことがある。根拠は聞かなかったけど。

まる：2番目とハイエンドのやつは、どう違うんですか？

ベトナム：一番高いのは覚える機能がなくて、部屋に入ってほしくないときは、何かものを認識して、それを置いておくと入らないみたい。

猫屋敷：それって別売りじゃなかったでしたっけ？

鶏肉：付属品としては売ってますね。

まる：なんか、部屋をまたいで掃除してくれるのが、一番いいやつなのかと思ったんですけど。

鶏肉：2番目とか3番目くらいじゃないですか。

米村：そうか、一番安いやつは部屋をまたげないんだね。段差が苦手。

りんご園：リモコンって何に使うんですか？確か、リモコンがついていた気が...

米村：リモコンが付いていたら、あんまり意味くない？

鶏肉：ホームページを見ていても、比較表みたいなものがなくて。明確にこれはこれがいいとか、あんまり見かけなくて。

ベトナム：個人のサイトでは、やっている人がいたけど。

米村：ルンバの一番の売れ筋はどれなの？

ミミミ：ちゃんとは見てないですけど、たぶん、値段の低いやつが4、5位だった気がします。でも色々調べて、自分で戻らないだとわかって、せっかくなら高いやつが欲しくなって。そういう誘い方をしているのかな。

米村：自分で戻るって結構大事だよな。

たこやき：自分で戻らなかったら、どこで終わるんですか。帰ってきて、たとえば3部屋あったら、あいつどこや、みたいになるんですかね。笑

キャサリン：切れたら、最初からスタートなんですかね？記憶して、充電したら、また途中から出来るならいいですけど。

キャサリン：電気代とか、どうなんですか？

鶏肉：1時間1円で、ダントツで安いです。たぶん、充電式だからですかね。

米村：モーターの力自体がそんなに強なくて、それを丁寧に何度も繰り返すのかな。

鶏肉：この会社の売りとしては「クールお掃除」で。発熱は少ないし。

米村：なんか排気がキレイだとかっていうよね。排気の臭いが嫌だっという人もいるし。

たこやき：充電式だったら、電池がへたって交換しなきゃいけないですよな。

ベトナム：それは1年で、フィルターもあるから、ランニングコストがすごいかかるって。バッテリーで1万円とか。

米村：でも、浄水器でもフィルターは1年に一回は交換するし、3000円くらいはするんじゃない。

たこやき：1年に一回注文して交換しなきゃいけないのは、結構面倒くさい。

ベトナム：商品自体が高いから、プラスアルファで1万か、と考えると躊躇しちゃうかも。

米村：携帯電話のバッテリーも1年くらいでへたってくるでしょ。

ベトナム：それは、2000円とかでも買えますし。

米村：他に、質問疑問はない？知り尽くした？

えいじ：便利感でいうと、食洗機ぐらいかなあ、と。

米村：うちの奥さんも食洗機を欲しいと言っていたけれど、最初は手で洗えばいいのと思ったな。

えいじ：うちは食洗機あるんですけど、普段の手洗いだと残ってしまう底の汚れをきれいに取ってくれて。

米村：でも、食洗機は食洗機で、ちゃんとした入れ方をしないといけないから、それなりに手間もかかるよね。

えいじ：ルンバを買ったら、物が多い家は一旦片づけて、それをキープできるんで。ハマるんじゃないかと。

米村：不可抗力として部屋がきれいになる、と。

ベトナム：確かに、必需品というよりも贅沢品に近いのかな。2台目という感じの。

たこやき：食洗機にコツがあるように、ルンバも逆に面倒くさくなる場合もあるのかな。お酒が入った瓶を倒しちゃうとか。

まる：ペットのフンがあると、それがブラシに付いて、隅々まで万遍なく。笑 そういうのが危険性としてはあるのかな、と。

たこやき：確かに、水分には弱そうですね。

キャサリン：これってカラーは？価格帯で色合いが違うの？

鶏肉：や、その型はその色みたいな。キティちゃん版とかあるよね。

鶏肉：オフィス用については、どうなんですかね？ぴったりだと思んですけど。そういうオフィスが必要としているかわからないので... 掃除とか、どうしてるんですか？

米村：np.の掃除は、みんなが交代で。でも、掃除機をかけてるのは、週に1回やるかやらないかくらいだと思う。汚いな、と思ったらやったりしてる。

鶏肉：でも、値段からして、もし会社が必要になったら家庭よりは手を出しやすいかなあ、と。

<ベトナムのストラテジーA>

米村：それじゃ、叩き台としてストラテジーを発表してみて。

A案（オーソドックス）

USP：自動で動き回って掃除してくれるロボット

ターゲット：子どもと別々に住んでいる高齢の母

インサイト：娘（息子）に世話をかけたくない

プロポジション：ルンバは、お掃除ペットです

ベトナム：オーソドックス案は、今おばあちゃんと一緒に住んでいるので、おばあちゃん目線で思ったことなんですけど。

米村：これは、二世帯住宅ってこと？

ベトナム：そうではなくて、近くに住んでいて、たまに掃除をしにきたり。

米村：自立したいってことか。

ベトナム：AIBOが高齢者にうけたり、うちのおばあちゃんにぬいぐるみを送ると喜んでくれるので、お掃除道具というよりもお掃除ペットとして提案したらいいんじゃないかと思って。

<ベトナムのストラテジーB>

B案（チャレンジ）

USP：掃除の負担を軽減する

ターゲット：すべての旦那さん

インサイト：奥さんに対していつも申し訳ない、ありがとうと思うけど伝えるのは恥ずかしい
プロポジション：ルンバは、さりげなく愛と感謝の気持ちを伝えるプレゼントです

ベトナム：奥さんを直接ターゲットにすると、欲しいけどいいかな、別に今の掃除機で十分だし。と思っ
てしまうのでは。それじゃ、金額の壁を越えられなそうで。旦那さんが奥さんに感謝を伝え
るんだったら、実用的なものの方がプレゼントしやすいんじゃないかと思って、旦那さんを
ターゲットにしました。

米村：これから先は、ターゲットと、そのターゲットのどういうインサイトにするか話をしようかな、
と。

米村：A案は2つの案が混じっている。

A案は、導入部は子供夫婦に迷惑をかけたくないとか自立したいと思っている人に向けていたの
に、出口がさみしさを紛らわすものになっていた。どっちもまだ捨てる必要はないけど、別だよ
ね。

ベトナム：でも、迷惑をかけたくない、というのは割とあるんじゃないかと。おばあちゃんの面倒見なき
やって近くに引っ越してくる場合は、結構あると思うんですね。

鶏肉：軽減はしてくれると思うんですけど、ルンバがあっても、世話はみないといけないわけですね。

ベトナム：でも、そこを突いて売っていったら、娘の負担を減らせるかもって気持ちはあるのかな、と。
現におばあちゃんにルンバの話をしたら、結構食いついていて。うちのお母さんが家の近く
に住んで、普段掃除をしにきていて、割と頻度は高いんですけど。

米村：それでも、使用状況を考えると、おばあちゃんが家にいる間ウイーンと動いてるってことだよな。

ベトナム：みんな、家にいない間に使うんですか？

鶏肉：眺めてるのが好き、という人もいますよね。そこまでうるさくはないです、神経質な人じゃなけれ
ば。

米村：B案は勝手に買ったなら、奥さんに怒られない？

B案は、相談もなしに買ったなら、「この値段だしこんなもの買うくらいなら！」と言われそうだけ
ど。経験的に。

鶏肉：確かに、物は嬉しいけど、値段聞いちゃったら、ええ！？みたいな。

ベトナム：とっておきの日に限定するのはダメなんですか？

たこやき：酔っぱらって買ってきそうなイメージが。笑

ミミミ：奥さんが欲しがっていた場合はヒットだけど、知らなかった場合は「お掃除ロボット?! うわ!」
みたいなの。

米村：一緒に決める感覚だと成功しそうだけど。突然買ってきたら... いくらしたの? 70000円とか言われると...

たこやき：確かに、家事を夫に手伝ってほしい人は多そうですけど、家事に口を出してほしくない人は多そうですよ。

米村：あと、週1回あなたが掃除してくれれば、とか。

まる：両親からプレゼントってのはどうですか？

米村：両親から夫婦のプレゼントだと、意外と高額なものでもありうるんだよね。財布が別だし、余裕があるから。

たこやき：最近、ルンバが話題に挙がること多くて。周りで結婚式が多くて、一つは買ってあげるもので、もう一つは結婚式の二次会の景品としてで。欲しいけど自分からは買わない人が多いから、すごい人気が高くて。あと、新婚初めの二人だと、共働きで部屋がそれほど広くない場合が多いから、そういう人にプレゼントするのは喜ばれるっていうのはありますね。

鶏肉：もらえるんだったら、間違いないですよ。

キャサリン：結婚祝いとか、妊娠したときとか。

鶏肉：排気を出さないで細かいほこりを取ってくれるから、赤ちゃんには良いと思います。

たこやき：ただ、赤ちゃんの生まれる家庭と新婚の家庭って、一緒にしない方がいいと思って。赤ちゃんが生まれると、色々床に物が置いてあったりするし、お母さんも神経質になっていると思うし。床だけじゃなくて、色々な所を掃除しなきゃいけないし。

米村：赤ちゃんがいると、色んなおもちゃとかが床に転がりがちだよ。

たこやき：それに対して、新婚さんで共働きになると、二人とも仕事で出ていて忙しいから、フィットする感じはします。

まる：赤ちゃんがいるからこそ、きれいにしなければいけないってのはどうですか？

米村：赤ちゃんは這い這いするからね。雑巾がけしているようなものだから。

鶏肉：でも、私は赤ちゃんのためだったら、雑巾がけを頑張りたいけど。

たこやき：どうしても手抜き感ってあるじゃないですか。他からの見え方としても。

魔法少女：でも、乳幼児がいるお母さんが一番自分の時間がないから、これは合うかなあ、と。

たこやき：自分がお母さんだったらほしいですか？

魔法少女：たぶん、買う前は本当にゴミを吸い取ってくれるかと考えるけど、買ったら自分で掃除するよりもゴミを取ってくれるので、あったらいいかな、と。

鶏肉：自分の時間をつくるっていうよりも、掃除する時間を赤ちゃんと一緒に過ごす時間にできて嬉しい、みたいなことが書いてありましたね。

米村：インサイトの本に出てた、パナソニックの食洗機の話って読んだ人いる？

りんご園：ママ心家電？

米村：そうそう。それは、赤ちゃんができたお母さんに食洗機を売るときに、手抜きとか、そういう後ろめたさをどう払拭するかということで。その時間を子供との時間に振り替えられて、むしろ子供のために、って書いてあったんだな。子供の育児によりコミットするための時間を。

りんご園：そのインサイトだとすごくハマる感じがするんですけど、そうすると、こういう類の商品は何でもそれでいけるように見えてしまって。本当にそれでいいのか...

米村：まあ、でもストラテジーでそこが一番可能性があるのなら、その中でどう表現するかっていう考え方もあるだろうし。

たこやき：たぶん、ハードルの問題だと思っていて。ネーミングをすると、それが一般化されるからハードルを越えられると思うんですけど、たぶん罪悪感の半分は人目を気にしているんだと思う

んですよ。だから、その商品で、お母さんとして良いことをやっているんだなというイメージが一般化されて初めて、機能するんじゃないかと。

米村：手抜きだと思われたいような、言い訳を与えてあげるのも広告の役割。

広告の役割としては、そういう言い訳を与えてあげるって意味もあるじゃない。

ベトナム：結婚とか出産みたいな人生の節目だと手抜きのイメージで罪悪感があるなら、祝いつながりで新居祝いとかだったら、あんまり罪悪感を感じないんじゃないかなあ。

米村：そうなんだよね。掃除機ってそんなに普段買う機会ってないんだよね。引越とか結婚とか、そういう節目のときに考えるものだったり。ただの引越じゃなくて新築とか新しくすると、掃除機も新しくしようかな、と。ただ、ルンバの場合は、1台目じゃなくてもいい、これだけで掃除機すべてというわけじゃないから。違う考え方もあるかもしれないけど。

ベトナム：やっぱり、ターゲットとしては、ルンバを持っていない人の方がいいんですよね？ルンバを持ってない人でも、ルンバを全く知らない人もいれば、ルンバを知っているけど金額の壁がある人もいたりで、その幅が大きいかなって。もう一つが、ルンバを持っていて買い換えようかなという人。でも、3つ目の人たちって、広告しなくても自分が一番知ってるから、買いたいときに買いますよね。

米村：ターゲットのパイは広がる可能性のあるところを考えた方がいい。

でも、まだパイが小さいよね。なんとなく、今あるパイを何十倍にできるポテンシャルがあるんじゃないかという思考で、考えた方がいいんじゃないかと。

鶏肉：値段と機能が合致するのか。話では聞くけど、それを何と言われたら...

米村：でも、テレビとかと比べると、それくらいかな、とも。

キャサリン：テレビは3万円台ですし。

ベトナム：家での位置づけが違いますよね。テレビだったら、やっぱり必需品だけど。

キャサリン：必需品よりも高いものを、それを超えてまで欲しいのか、と。そんなにするなら、自分が手間を惜しめばいいんじゃないかって。

米村：でも、この人だって毎日働く人でしょ。人生のハレのときだけ引っぱり出すわけじゃなくて、毎日用があるんじゃない。テレビを何時間見るとか、日中家にいない人でも大差ないかもしれないよね。

ベトナム：そうなる、食洗機と同じ並びですよ。

鶏肉：ルンバを欲しいと思った人は、ルンバ以外の類似品も一応チェックすると思うんですよ。それで、やっぱりルンバかかって。

魔法少女：食洗機と少し違うのは、食洗機は毎日皿を洗わないといけないけど、掃除はもしかしたら1週間に1回しかしなかった人が、ルンバで毎日やるようになるとか。

米村：生活のクオリティが上がる感じ？

ミミミ：私、一人暮らしをしていて掃除とかが全然追いつかないときに、家政婦を雇ったらいくらかかるのか調べたことがあって。普通に1人の人が週3日来て、6万円とか。もちろん、諦めたんですけど。笑 でも、実際に来るなら来るで面倒なこともあると思って。ルンバは3年は使えると思うと、30歳とか40歳の子供がいない共働きの人とかは余裕で買えますよね。面倒もないし、ロボットだし。

鶏肉：うちも昔、週1で家政婦に来てもらっていたんですけど、毎日掃除する家じゃないので、ルンバが欲しいよねえ、と。

りんご園：パイがどのくらいあるかわからないんですけど、単身赴任している人ってどのくらいいるのかなあ。単身赴任は節目だし、罪悪感もたぶんないし。元々家族で暮らしていて、そのときは奥さんが掃除をやっていたけど... 掃除ができないというより、掃除をするという概念がないのかな、と。そういう人には、あったら便利かな。

米村：掃除をするという概念がなかったら、ルンバのありがたみもわからないんじゃない？

りんご園：そこで初めて気付くというか。

米村：半年くらい前に、仕事で九州に行った人が家電をプレゼントされてたよ。電子レンジだったかな。

鶏肉：確かに、単身赴任で家電のプレゼントは嬉しいですよ。

米村：でも、ルンバは少しひねっていて、そこまで気が回らないかもね。単身赴任する人が掃除について困るっていうのは、誰がどう気づくのかな。本人じゃないのかな。

猫屋敷：奥さんですかね？持たせる、みたいな。

キャサリン：ちょっと状況が違うんですけど、韓国の人たちって軍隊に行くじゃないですか。そのとき親元から離されて、自分で何でもしなきゃいけない環境になったときに、やっと親がやっていたことに気付くらしくて。1か月後に手紙を書くんだけれど、「すみませんでした。掃除がこんなに大変なものだとは」「ご飯は栄養がこんなに必要で、こんなに考えてつくっているとは思いませんでした」みたいな。離れないと、ありがたさとか必要さとかに気づかないみたいで。気づくと、やらなきゃいけないっていう必要性が見えてくるみたいです。

ベトナム：同じようなことなんですけど、単身赴任や一人暮らしをして、奥さんや親のありがたみが分かった、みたいな。実家に帰ると、すごい楽なのを実感すると言っていて。家から離れて、実家とか妻が恋しいとなったときに、ルンバがずっとその隙間に入ってくると、結構いいのかな。

米村：じゃあ、これから単身赴任する人には、まだ、そういうインサイトはないってことだね、逆に言う。経験しないとわからないから。

ベトナム：単身赴任したての人だったら、グイグイ来るかもしれないです。

たこやき：僕も、一人暮らしについて考えたんですけど。東京に出てきて一人暮らしを始めて、親のありがたみを感じて。でも、それで自分がルンバを買うかという話は別で。一人暮らしを始めるタイミングで、いずれそうなるってことは親が把握していて、だから、一人暮らししている息子、娘に色々な食材とかを送ったりするじゃないですか。二期のときに、一度「佐藤のごはん」についてやったんですけど、そのとき、お母さんが一人暮らしをしている息子、娘に食材とか仕送りをするとき、佐藤のごはんを入れるみたいな話をして。それで、今回、その話が通用するかと考えたら、ルンバを送ると佐藤のごはんを送るのとでは、価格以前に、気持ち的な部分で差があるのかなあ、と。自分で買うのはまらないし、お母さんや奥さんとかが送る方がまだはまるんだけど、それも100%ではないな、と。

鶏肉：今日ちょうど一人暮らしの友達に話を聞いていて、その子はちょっとリッチなんですけど。親に「ルンバ欲しい？」って聞かれて、欲しいって言ったら買ってくれるだろうけど、自分で掃除するからいいや、と。やっぱり、家族内で相談が必要なものなのかなって。

たこやき：一人暮らしをするときって、掃除に対する不安とか、いずれやらなくなることであんまり考えない。むしろ、全然イケるぜ、これから全部できる、完璧な日々が待っているくらいの心境なんですよね。だから、ルンバを買うというよりも、いい掃除機を買うとか、自分でちゃんとやるものをどっちかという選ぶかな、と思うんですけど。

ベトナム：慣れてきた今はどうですか？

たこやき：今は欲しいですよ。そこまでの時間って結構かかるから、タイミング的にはそこじゃないんじゃないかって。

米村：僕の少ない掃除経験からいうと、一人暮らしだと1Rとか、せいぜいもう一部屋くらいじゃない？
その床をきれいに掃除機でほこりを取るのって、そんなに大変じゃない。あっという間に終わっちゃう。それよりも、散らばってるものを片付けたりゴミを捨てたり洗濯したものを干したり、そういうものは大変なんだけど、床をクリーンナップするっていうことは、時間にしても5分か10分で終わってしまう感じがするんだよね。

キャサリン：上京してきて一人暮らしの子の部屋って、私の周りだと都内の家じゃないからなのか、すごい狭い家が多くて。4畳半でロフトがあるよとか、せいぜい6畳、10畳あれば広いね、みたいな。せいぜい10畳に、いきなり7万を捧げられるかという... 大学生とかだと、4年生になったら私の周りだと実家に帰ったり引っ越したりが多いから、どうなんだろうな。あまり広くない部屋で、一人暮らしのお金がない人が果たして捧げるかって。

鶏肉：ざっくり、お掃除してくれるから楽というのと、すごくきれいにしてくれるというのがあって。うちのお母さんは、髪の毛1本でも気になって、毎日拭き掃除をされていて。もう、コロコロは常に何処かにあるみたいな、ちょっと神経質寄りな人で。でも、お掃除ロボが来てから、それでも掃除はするけど、やっぱり楽にはなった、と。

米村：でも6畳一間だったら、コロコロ一個あればできるよ、むしろ。それ以上広がると、また別なんだけど。

魔法少女：なんかルンバは、自分のためじゃなくて誰かのために買うものかなって。それは大義名分かもしれないけど、家族のためだったり子供のためだったり。

キャサリン：やっぱり、お金がない層よりは、ちょっと余裕がある層の方が、スッと手は出しやすいと思うんですけど。

ミミミ：気になるのは、お金をちょっと持っていてルンバも持っている一人暮らしの女の人の家に行ったら、ルンバがウイーンと動いていたら、男子的には「この人、掃除ができないじゃないか」みたいな。誰かのためにじゃなくて、100%自分のためだから... 印象どうですかね？

たこやき：テンション上がりますね、ルンバあるやん、と。笑

猫屋敷：確かに言われてみれば、ズボラなのかなぁ、と思うかもしれないですね。

ミミミ：だから、誰かのために、みたいのがあってかなぁ、と。

鶏肉：そうすると、楽だけど超綺麗になるとか、手が離せるから時間ができるとか。

米村：時間の使い方なんじゃない？ルンバ働かせながらさ、自分はソファで横になってポテトチップ食いながら映画を見ていたら、それはどうなんだって思うけど。その時間に、たとえば洗濯をしている間に掃除はルンバにさせてる、とか。

魔法少女：共働きの夫婦だと、小さい子だと特に、子供と接する時間は短いけど濃い時間を過ごしたいって気持ちがあって。もちろん、その時間が長ければ嬉しいって気持ちで、ルンバを使うかな、と。

米村：あと、掃除機とか洗濯機って、夜とか深夜にあんまり使いたくないっていうのもあったりするでしょ。

鶏肉：夜型のあなたにもっていう形で。

猫屋敷：あと、ペットがいる家ってどうなんですかね。僕、5匹いるんですけど、もう埒が明かなくて。毛も、取っても取っても、1日でもう。

鶏肉：ペットいるからルンバがすごく欲しいんですけど、ルンバとペットの相性も心配なんですよね。ペットがいるから毎日毛だらけで、もう掃除なんて無理で...欲しいって！

米村：でも、動物園の、イノシシとサルの名コンビみたいなあるじゃない。ルンバに仲良くなってほしいって。

ベトナム：今日、見た気がする。ルンバに猫が乗っかっていて、ウーンって。あ、乗っかるんだって。



引用元 : <http://p.tl/Obmx>

鶏肉 : ペットとルンバの相性が良くなってしまったら、ペット家庭として嬉しい。ペットがいる時点で、動くものを入れるのが怖いから。

米村 : それじゃ、そろそろ飯を。